

沼津市こども計画 パブリック・コメントの結果

○パブリックコメントの実施状況

- ・実施時期：令和7年1月27日（月）から令和7年2月26日（水）
- ・提出者数：2名
- ・意見数：11件

	頁	意見の概要	事務局の考え方	修正の有無
1	37(3)	障がい児等への支援→障がいのあるこども・若者への支援 にタイトルを変更してはどうか	計画の37頁1-2-(3)について、実施している施策等の表記に揃えて、「障がいのある児童等への支援」に変更いたします。	有
2	37(3)	障がいのある児童等への支援の具体的な取組へ、「障がいがあっても通常学級でともに学ぶことができる環境を提供する教育システムの充実を目指します。」を追加してはどうか。	ご指摘の箇所につきまして、本市においても、障がいの有無に関わらず児童生徒がともに学習する中で相互理解を深めていくことを目指しており、その手段として、教育システムの充実が重要だと考えております。そこで、計画の37頁1-2-(3)において「障がいの有無に関わらず、できる限り同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育システムの充実を目指し、児童生徒が自然に相互理解できる教育の推進に努めます。」と記載することといたしました。具体的な取組等は、今後検討を進めてまいります。	無
3	37(3)	障がいのある児童等への支援の具体的な取組へ、「障がいのある児童への支援具体的な取組へ、障がいのある若者の健康の増進と生活の安定をはかるため、医療費の助成や経済的支援など、自立支援の充実を図ります。」を追加してはどうか。	障がいのある児童等が自立に向けてより良い地域生活を送れるように、計画の37頁1-2-(3)の具体的な取組として、「障がい者基幹相談支援センターにおいて、地域で生活する障がいのある人及びその家族等の相談に応じ、各種サービスの利用など地域生活に必要な支援を行います。」を追加いたします。なお、経済的支援に係る部分につきましては、原案通りとさせていただきます。	有
4	37(3)	障がいのある児童等への支援の具体的な取組へ、「障がいのある若者が、自身の置かれている環境に関わらず、なりたい自分を目指す中で、多様な選択を提供し、自分の可能性を広げることができるよう支援します。」を追加してはどうか。	こどもや若者が障がいの有無を含め、様々な自身の状況によって、諦めや妥協をしないために、計画の29頁第3章第1節の基本理念において「全てのこども・若者が、心身の状況や自身の置かれている環境に関わらず、自分を認め、成りたい自分を目指す中で、多様な選択を行い自分の可能性を広げることができるまち」を目指すことを記載し、すべてのこども・若者が健やかに成長できるような思いを込めさせていただきました。	無
5	37(3)	障がいのある児童等への支援の具体的な取組へ、「障がいの有無にかかわらず、自身の置かれている環境に関わらず、対等な関係の中で、地域での暮らしや生きがいとともにすることができるよう、地域共生社会に向けて取り組みます。」を追加してはどうか。	障がいの有無に関わらず、豊かな生活が送れるよう、計画の37頁第4章1-2-(3)具体的な取り組みに「障がいのある人が、地域において、生きがいをもち、ゆとりや潤いのある生活を送れるよう、生涯学習機会の充実を図ります。また、障がいがあっても気軽に文化芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動等に参加できるような環境づくりや配慮を推進します。」を追加いたします。	有
6	37(3)	障がいのある児童等への支援の具体的な取組へ、「障がいのある若者の多様なニーズを踏まえ、文化芸術活動やスポーツ等の個性や能力を發揮できるよう、そして社会参加の促進になるよう取り組みます。」を追加してはどうか。	障がいの有無に関わらず、どのような状況においても、差別、いじめ、虐待は防止のための取組を進めていかなければならないため、全ての児童へ向けた記載とさせていただきます。障がいを持っていることによる差別等も起こらないように、それぞれの状況に応じた対応の強化を図っていきます。	無
7	37(4)	児童虐待防止対策等の推進の具体的な取組へ、「障がいのあるこどもや若者への差別、いじめ、虐待への防止対策に努める。」を追加してはどうか。	障がいの有無に関わらず、近年では共働き世帯が増加していることから、こどもが多くの時間を一人で過ごす傾向があります。「こどもの孤立」は大きな問題だと考えており、それらの状況を未然に防ぐため、家庭のみではなく地域や社会全体で支えていけるよう、居場所作り等の充実を図っていきます。また、障がいのあることによる孤立が起こらないように、公教育での理解促進や、相談体制の充実に取り組みまいります。	無
8	40(1)②	具体的な取組の1番目「低所得世帯や共働き等で一人の時間を過ごす」の後に「地域の中で孤立している障がいのあるこども」を追加してはどうか。	障がいの有無や国籍に限らず、どんな些細な問題であっても助けが必要な児童生徒を取り残さないことを目指しているため、このような記載とさせていただきます。障がいを持っていることや国籍が違うことにより支援が必要である場合には、それぞれの状況に寄り添った対応を実施していきます。	無
9	40(1)①	具体的な取組の2番目「支援が必要な児童生徒の・・・」の前に「障がいを持っていたり、外国籍など」を追加してはどうか。	なお、(1)の①と③で重複した内容の記載が見られたため、(1)①の心も体も健全に成長できる支援の部分に集約する形で記載させていただきます。	有
10	41(1)③	具体的な取組の1番目「支援が必要な児童生徒の・・・」の前に「障がいを持っていたり、外国籍など」を追加してはどうか。	こどもに向けた公共施設については、子育て支援センター・放課後児童クラブ等を各地区に設置しております。また、令和5年には、こどもから大人まで生涯を通じてスポーツ活動ができる沼津市総合体育館を開館するとともに、ストリートスポーツパークを暫定運用しているところです。公園を始めとするこどもたちが自由に遊べ、学習のできる公共施設の整備につきましては、今後検討させていただきます。	無
11	全頁	こどもたちも親も気軽にに行ける交通の便のいい場所に、こどもたちが思いっきり遊んだり、学んだり、親も気軽に相談したり、話し合ったりできる居場所としての、大きな公共施設を作って欲しい。		